

同時資料提供

大阪市政記者クラブ
大阪科学・大学記者クラブ
大阪教育記者クラブ
南大阪記者クラブ
関西レジャー記者クラブ

平成 26 年 9 月 5 日
大阪 市 立 自 然 史 博 物 館
TEL:06-6697-6221

「ホネホネサミット2014」を開催します

大阪 市 立 自 然 史 博 物 館 で は、「ホネホネサミット2014」を平成 26 年 10 月 12 日（日）、10 月 13 日（月・祝）に開催します。

ホネホネサミットを主催する「なにわホネホネ団」は 2009 年、大阪 市 立 自 然 史 博 物 館 の 研 究 サークルとして活動を始めました。主な活動は、博物館に集まった動物の死体を、博物館で保存するために標本化することです。その他に各地のイベントにも出掛け、動物の死体を標本として残すことの意義を普及してきました。

ホネホネサミットは、博物館や大学などを舞台にホネの標本づくりをしている団体や個人、さまざまな形でホネの標本づくりに関わっている人たち、そしてホネに興味のある人たちの交流が目的のイベントです。いろいろな団体や個人、それぞれが作ったホネの標本を展示したり、活動内容を紹介します。また、イベントとして一般の方々にも来ていただき、ホネの魅力や動物の死体を標本として残すことの意義を多くの人に知ってもらう機会にもしたいと考えております。

「ホネホネサミット」の開催は、2009 年、2011 年に続いて今回が 3 回目となります。毎回当初の予想以上の盛り上がりを見せ、各回の来場者は 1 万人を超え、多くの方々に「自然の文化祭」を楽しんでいただいております。

今回もホネをはじめ、自然に興味のある多くの方々のご来場をお待ちしております。

■開催概要

1. 名 称：「ホネホネサミット2014」
2. 期 間：平成 26 年 10 月 12 日（日）、10 月 13 日（月・祝）
3. 会 場：大阪 市 立 自 然 史 博 物 館 本館および博物館玄関前ポーチ
〒546-0034 大阪 市 東 住 吉 区 長 居 公 園 1-23（長居公園内）
TEL：06-6697-6221 FAX：06-6697-6225
地下鉄御堂筋線「長居」下車 3 号出口・東へ 800m
JR 阪和線「長居」下車東出口・東へ 1000m
4. 入 場 料：無料
※ただし博物館の展示を見るには入館料、植物園に入るには入園料が必要です。
5. 開催時間：9 時 30 分から 17 時（ただし両日とも入館は 16 時 30 分まで）

6. 開催内容

◆ブース展示（両日とも開催）

本館・ポーチで、出展団体による活動紹介や標本などの展示、自然をテーマとした参加体験型のゲームコーナーなど。

◆講習会

・ゲッチョ先生のホネの絵描き講座

たくさんの著書でお馴染みのゲッチョによる絵描き講座。実物のタヌキ頭骨を前に、ゲッチョ流のホネの描き方を伝授してもらえます。

日時：10月12日（日） 10：30～11：30

10月13日（月・祝） 10：30～11：30

集合場所：自然史博物館本館1階 ナウマンホール

定員：各回30人

材料費：100円（画材代）

講師：盛口満氏（沖縄大学）

◆紙芝居「ナガスケものがたり」

大阪の海に流れ着いたナガスクジラが骨格標本になるまでの物語を紹介します。

日時：10月12日（日） 12：30～13：00

10月13日（月・祝） 12：30～13：00

開催場所：自然史博物館ポーチ

参加費：無料

実施：認定NPO法人大阪自然史センター

◆講堂プログラム

<10月12日（日）>

・招待講演会「となりの国でコツコツとホネ集め -朝鮮半島から見えるクール・ケモノ・ジャパンの巻-

韓国の自然史研究は残念ながら、まだ、揺籃（ゆりかご）期にあり、動物の死体は見向きもされず捨てられる運命にあります。ご存知のように、ホネの標本を作成するには誰もが嫌う汚くて、臭い作業から逃げられません。ホネ作りは地味で人気の無い作業です。でもでも、韓国では稀有な、ホネ集めなんてちょっと”オタク”っぽい事に興味のある学生さんに運命的に出会い、数年来、韓国のケモノの死体を集め、タヌキ、カワウソ、キバノロなど韓国最大のホネのコレクションが出来ました。この宝ものと日本の標本を比べたら、日本のケモノがとっても“クール”な事が分かりました。

その7年間の成果を、この10月から行なわれるソウル大学附属博物館での特別展『骨からみる韓国の野生動物（予定）』で披露します。地味なホネ集めから韓国初の本格的な動物解剖学の企画展開催にいたるまでの裏話をご紹介します。

時間：13:30～15:00

会場：自然史博物館本館 講堂

参加費：無料

講師：木村順平氏（ソウル国立大学獣医学部）

<10月13日(月・祝)>

・ホネ☆ホネ発表会

出展者が、ホネ標本作りや皮むきの技や道具などのノウハウ、ホネを使った教育プログラムや活動展開を紹介します。

時間：13:00～14:30

会場：自然史博物館本館 講堂

参加費：無料

発表者：魁!!骨塾、なにわホネホネ団 ほか

・ホネホネ講演会「毛皮のなめしと剥製作りと修復と」

博物館標本として毛皮をどう保存するのか。剥製標本はどうやって作られているのか。また、歴史的にどう作られてきたのか。さらにそんな古い剥製はどう修復されるのか。よく質問される標本づくりに関したテーマを、試しにちょっとやってみたくなるように、方法を具体的に紹介します。

時間：15:00～16:00

会場：自然史博物館本館 講堂

参加費：無料

7. 主 催：

大阪市立自然史博物館、なにわホネホネ団

8. 出展団体：北海道から沖縄県まで、日本各地のホネ関連団体・個人45団体(予定)

株式会社アクアテイメント、アクア・トトぎふ 骨部、芥川緑地資料館(あくあびあ芥川)、奄美骨部、いぞらど isolado、イワシ金属化、岩手大学 自然史探偵団、奥州市牛の博物館、認定NPO 法人大阪自然史センター、帯広畜産大えぞほね団×板倉来衣人、岡山理科大学環境考古学研究会、小木曾チエ、かえるの骨 とりの骨、かふえびとう/C a f e S l o w O s a k a、G A L V A N I C、京都大学大学院 地質学鉱物学教室古脊椎グループ、群馬県立自然史博物館、甲羅区、魁!!骨塾、五月山動物園、佐藤寿哲、佐藤真央、四国自然史科学研究センター、樹脂会!、スカルチュラ&はにわや工房、ストロマトライト(海洋堂骨同盟)、ソウル大学附属博物館、ダチョウ組(岐阜県博物館サポーターグループ)、田中楓(フィールドワークサークルゆるふわ)、透明標本クリスタル、なにわホネホネ団、日本ウミガメ協議会、ひこばえ団(成安造形大学小田ゼミ)、平田泰紀、琵琶湖博物館はしかけ ほねほねくらぶ、福井市自然史博物館・骨部、プレーメンの骨格隊、プロジェクトとっかり、マンタム(田村秋彦)、南三陸新人ハンター、ミノル、室戸研究基地、盛口満、吉村文孝・吉村泉名、渡邊太朗(50音順)

9. 問合せ

◆イベント内容に関するお問い合わせ

ホネホネサミット2014事務局（担当：和田／西澤）

TEL：06-6697-6222 FAX：06-6697-6225

MAIL：hone2014@mus-nh.city.osaka.jp

「ホネホネサミット2014」公式webサイト

<http://www.omnh.net/npo/hone2014/>

◆取材・広報・広報用画像に関するお問い合わせ

大阪市立自然史博物館 総務課 広報担当 山上(やまがみ)

〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園1-23（長居公園内）

TEL：06-6697-6221 FAX：06-6697-6225

MAIL：k-yamagami@ocmo.jp

■ 広報用提供画像

※画像は 2011 年開催時の様子です

1. 展示コーナーの様子



2. 展示コーナーの様子



3. 展示コーナーの様子



4. ポスター展示コーナー



5. ワークショップの様子

